

2014年11月1日

日本金融学会会員各位

日本金融学会2015年度春季大会  
プログラム委員会

### 日本金融学会 2015 年度春季大会のご案内と報告論文の募集について

日本金融学会 2015 年度春季大会を 2015 年 5 月 16 日(土)・17 日(日)の両日、東京経済大学(国分寺キャンパス)において開催することとなりました。ここにご案内申し上げますとともに、自由論題の報告を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募ください。

#### 記

**応募期限：2015 年 1 月 16 日(金) 当方必着** (いずれの方法で申し込む場合も同じ)

**応募資格：**日本金融学会の個人会員、および賛助団体・特別会員の登録会員

※ 非会員の場合は、報告申し込み以前に、学会への入会申し込みを済ませておく必要があります。

**応募内容：**以下の 1 および 2

1. 申込書：別紙「報告申込書」に以下の内容を記載したもの

- (1) 報告希望代表者氏名(日本語・英語の双方)、所属(日本語・英語の双方)
- (2) 報告論文共著者氏名(日本語・英語の双方)、所属(日本語・英語の双方)
- (3) 報告論題(日本語・英語の双方。印刷配布されるプログラムに掲載を希望する方に○をつける。)
- (4) 報告言語(日本語・英語のうちいずれかを指定)
- (5) キーワード(3語)
- (6) 報告の該当セッション(以下のセッション案から選択)

A 金融理論	B 金融史	C 金融仲介機関	D 企業金融
E コーポレート・ガバナンス	F 金融/証券市場分析	G 行動ファイナンス	H 保険/リスク・マネジメント
I 金融政策	J 金融マクロ	K 国際金融	L 開発金融
M 各国金融	N 地域・中小企業金融	O その他	

(7) 報告希望代表者の住所・連絡先(電子メール・アドレス、電話・FAXを含む)

(8) 希望する討論候補者 2 名の氏名、所属、住所・連絡先(電子メール・アドレス、電話・FAXを含む)

2. 報告内容を示す資料：「報告要旨」(2部)と「フル・ペーパー」(2部)

なお、フル・ペーパーのない申し込みは無効となりますのでご注意ください。

**応募方法：**以下の①②いずれかの方法で申し込んでください。「報告申込書」のWORDファイルは学会ホームページの「全国大会」ページで入手できます。採択された場合、「報告要旨」は学会ホームページにそのまま掲載されますので、別紙「報告要旨の執筆要綱」に従って作成してください。

① 学会ホームページの「全国大会」ページにある「大会報告申し込み」をクリックし、必要事項を記入して申し込む。注：その際、「報告申込書」「報告要旨」「フル・ペーパー」の各ファイルをアップロードすることが要求されます。

② 下記電子メール・アドレス宛に、「報告申込書」「報告要旨」「フル・ペーパー」の各ファイルを添付して送る(不可の場合はCD-ROMまたはUSBメモリを下記住所に郵送)。

さらに、いずれの方法で申し込んだ場合も、「報告申込書」(2部)、「報告要旨」(2部)、「フル・ペーパー」(2部)を印刷して、下記住所に郵送してください。応募期限はすべて同じです。

**応募先：**〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東京経済大学  
日本金融学会東経大大会事務局 熊本 方雄  
電子メール・アドレス：jsme2015@tamacc.chuo-u.ac.jp  
TEL：042-328-7925 (研究室)

なお、報告者・討論者の決定はプログラム委員会が行います。審議の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。 以上

## 報告申込書

報告希望代表者氏名 *	和文	英文
報告希望代表者所属 * 大学院生の場合は「〇〇大学 大学院生」と記入してください。	和文	英文
報告論文共著者氏名 *	和文	英文
報告論文共著者所属 *	和文	英文
報告論題 * 配布プログラムに掲載を 希望する方(和文または英文)に ○をつけてください。	和文	英文
報告言語	日本語	英語 (いずれかに必ず○)
キーワード(3語)		
報告論文の該当セッション に○をつけてください。	A 金融理論 B 金融史 C 金融仲介機関 D 企業金融 E コーポレート・ガバナンス F 金融/証券市場分析 G 行動ファイナンス H 保険/リスク・マネジメント I 金融政策 J 金融マクロ K 国際金融 L 開発金融 M 各国金融 N 地域・中小企業金融 O その他	
報告内容	「報告申込書(この用紙)」(2部)、報告言語で執筆された「報告要旨」(2部)、「フル・ペーパー」(2部)を印刷して郵送し、それとは別に、3つのファイルを学会ホームページ経由、あるいは電子メール添付の形で(不可の場合はCD-ROMかUSBメモリの郵送にて)お送りください。報告要旨の様式は別紙「報告要旨の執筆要領」を参照。	
報告希望代表者住所		
電子メール・アドレス		
電話・FAX	TEL	FAX

\* がついている項目については、必ず日本語と英語両方の表記をして下さい。

希望する討論候補者2名についてご記入ください。

① 氏名	
所属	
住所	〒
電子メール・アドレス	
電話・FAX	
② 氏名	
所属	
住所	〒
電子メール・アドレス	
電話・FAX	

※討論者はプログラム委員会が決定しますので、上記の方々が討論者とならない場合もあります。

**応募期限 2015年1月16日(金) 当方必着 (学会ホームページ経由、電子メール、郵送は同じ締切日です)**

## 報告要旨の執筆要綱

日本金融学会ホームページ委員会

大会準備委員会・プログラム委員会より、皆様に報告要旨の執筆依頼があったことと存じます。この報告要旨は、学会のホームページ(HP)に掲載されます(\*)。皆様の作成された報告要旨ファイルは、そのままPDFファイルに変換され、HPに掲載されますので、以下の執筆要綱を必ずお守りくださるようお願いいたします。HPに掲載されたファイルの内容と体裁につきましては、ご報告者の責任となりますので、あらかじめご了承ください。

\* 2008年度より、従来報告要旨を掲載しておりました『金融学会会報』(紙媒体)は廃止され、HPのみの掲載となりました。

なお、作成していただいた報告要旨ファイルは、学会ホームページ経由、あるいは電子メールに添付する形で(不可の場合はCD-ROM・USBを郵送する形で) 大会準備委員会・プログラム委員会に提出していただきます。提出期限につきましては、大会準備委員会・プログラム委員会からの指示に従ってください。

### <執筆要綱>

**ファイル名** : 次のルールに基づいて作成してください。すべて半角で、(2015年度春季を意味する)15S- を先頭に付け、第一著者のフルネームを英小文字で表記する。たとえば、15S-ogawaeiji.doc のようになる。かに2つの報告を行う予定がある場合は、区別するために、フルネームの最後に1、2の番号を振る。たとえば、15S-ogawaeiji1.doc のようになる。

**ファイルの種類** : MS-WORD(不可の場合はテキストファイル)

**用紙サイズ** : A4判

**用紙余白** : 上下左右とも30mm(85.05pt)を標準とする。

**1枚あたり字数** : 全角計算で40字×34行を標準とする。

枚数制限:1枚(サーバーの容量もあり、必ずお守りください。)

**フォントの種類** : 日本語はMS明朝、英語・英数字は半角Centuryを標準とする。

**フォントのサイズ** : 10.5ポイントを標準とする(タイトルは別)

**タイトル** : 12ポイント、太字、センタリング(複数行可)

**所属・氏名** : 右寄せ(所属は機関名のみとし、部署名は省略)

注:大学院生の場合は「\*\*大学大学院生」と表記

各段落の先頭に1マス分(英語の場合は1タブ分)の空白を入れる。

具体例として、学会ホームページ<<http://www.jsmeweb.org>>の全国大会ページに掲載されている過去の大会の報告要旨を参照してください。